

聖学院中学校・高等学校
東京音楽大学共催イベント

「データサイエンス × 音楽」 ワークショップ

サウンド・スペクトルから読み解く感性と科学
テクノロジーで音を感じる

開催日時：2025年12月26日（金） 14:00～17:00

※当日は13:30開場予定です。

開催場所：聖学院中学校・高等学校 5F フューチャーセンター

東京都北区中里3-12-1 JR山手線「駒込駅」東口より徒歩5分

東京メトロ南北線「駒込駅」3出口（JR駒込駅南口）より徒歩7分

※他の出口は分かりにくいので、3出口をご利用ください。

ファシリテータ：神谷 匠 東京音楽大学非常勤講師
インストラクター：山本 周 聖学院中学校・高等学校GIC統括長
新井聡真 東京音楽大学准教授

受講対象：

聖学院中学校・高等学校

女子聖学院中学校・高等学校

東京音楽大学附属高等学校

※上記学校に在学中の方であればどなたでも参加可能です。

参加登録はこちらから



音や音楽には興味があるけどデータサイエンスは苦手、音楽理論はわからないけど音に関わるキャリアを創りたい、アプリケーションを上手く使う自信が無い。そんな方々にもインストラクターや講師が丁寧にサポート致しますので、安心してご参加ください。

「テクノロジーで音を感じる」ためのワークショップ

Feeling sound through technology

今回のワークショップでは、「テクノロジーで音を感じる」をテーマとして、普段何気なく接している「音」をアプリケーションを利用し可視化していきます。

なぜ音を聞いて気分が高揚したり、注意を引かれたりするの？テクノロジーを介して音に触れることで「データサイエンス×音楽」のもつ可能性を少しでも感じてもらえたらと思い東京音楽大学と聖学院中学校・高等学校がタッグを組んでお届けします。

プログラム

Introduction 30min

Presented by 神谷 匠 講師

Gorop/Individual Work 90min

With 山本周 GIC 統括長、新井聡真准教授

WarpUp 60min

All Member

※内容や時間は今後変更になる可能性があります。

ワークショップ用アプリケーション

ハードウェアは聖学院中学校・高等学校フューチャーセンターから貸出頂く Mac Book Pro を使用するため自身の PC がなくても安心して参加できます。解析アプリケーションは、今回のワークショップ用に神谷講師が「音」の成分や特徴の可視化、評価などを行えるオリジナルアプリケーションを開発しました。これらを参加する皆さん自身の手で触って、使い、音の違いや感性との連携などを是非体験してください。



※画面は開発中のサンプルのため使用時にはインターフェース等が異なる場合があります。



ファシリティータ プロフィール
神谷 匠 カミヤ タクミ

研究分野：

人工知能、深層学習、語彙学習、行動学習、学習の汎化、自律エージェント、アフォーダンス

興味ある題目：

人の環境認識、記憶構造、プランニング、自動生成、行動の創発

使用可能言語：

C/C++, java, Python, web 関連言語等